

山梨県の概要



山梨県は、3,776mの高さを誇る富士山をはじめとして、豊富な自然や美しい水に支えられた農産物や工業など、様々な日本一があります。ぶどうや桃などの農産物や、ワイン、ジュエリーなど優れた県産品は「やまなしブランド」として、国内外で親しまれています。

県名の由来

山梨、八代、巨摩、都留の4つの郡からなる甲斐の国は、明治4年11月、廃藩置県で「山梨県」となりました。「やまなし」の由来は、くだもののヤマナシがたくさんとれたから、山をならして平地にした「山ならし」からきているなどたくさんの説があります。

山梨県のシンボル

〈県の鳥〉 ウグイス

春を告げる鳥として、昔からみんなに愛され親しまれています。里にも奥山にも生息し、他の鳥のひなを育てるといったやさしい習慣をもっています。このことから、「明朗と慈愛」を表しています。(昭和39年6月制定)



〈県の花〉 フジザクラ

4月から5月にかけて、富士の裾野を彩ります。木はあまり大きくならず、花びらも小型で下むき加減に開きます。きびしい富士の風雪に耐えて、つつましやかに咲く花は、「和と忍耐」を表しています。(昭和29年制定)



〈県の獣〉 カモシカ

日本特産の特別天然記念物に指定されており、本県では、南アルプス、奥秩父、富士山、三ツ峠などの山岳地帯に生息します。高山のきびしい自然に耐えて生きていることから「忍耐・努力」を表しています。(昭和39年6月制定)



〈県の木〉 カエデ

一般的には、葉は緑色で、秋、霜をうけて美しく紅葉します。本県の山などを美しく彩るそのさまは、「山々の男ぶり見よ甲斐の秋(虚子)」などと詠まれています。(昭和41年9月制定)

